大迫地域住民福祉活動計画

令和６年度～令和１０年度

大迫ふくしのまちプラン

全ての人が住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと生活していくためには、国や自治体が定めた一律の制度やサービスだけではなく、それぞれの地域の実情にあった住民同士の支え合いの仕組みが必要です。

地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、住みよい地域づくりを行っていくため、地域の福祉課題の解決に向けての目標を掲げ、目標の達成にむけて地域ぐるみの取り組みを推進するための計画です。

策定：大迫地区小地域福祉活動計画策定委員会
編集・発行：花巻市社会福祉協議会大迫支部
社会福祉法人　花巻市社会福祉協議会
問合せ：花巻市社会福祉協議会大迫支部
電話　0198-48-4111　　ＦＡＸ　0198-48-4085

大迫地域

宿場の町として栄えた大迫町。県内外から登山客の多い早池峰山がそびえ、今では「神楽とワインの里」をキャッチフレーズとしており、町で伝わる早池峰神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されるなど、文化と自然に魅力あふれる地域である。

しかしながら、市内でも特に少子高齢化問題が深刻となっており、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の割合が増加している地域となっている。

『私たちの地域を語ろう』から始まりました

花巻市社会福祉協議会大迫支部では令和4～5年度にかけて『私たちの地域を語ろう』をテーマに地域福祉懇談会を4回開催しました。

大迫地域の住民のみなさんと地域の理想像について意見を出し合い、理想の地域づくりに向けて、今できていること、できていないこと、地域の強みや弱み、福祉課題について意見交換しました。

懇談会で挙げられた住民の声や思いを基に、地域住民が主体的に取り組むための住民福祉活動計画として、3つの目標をまとめました。

【大迫地域の特徴ある地域福祉の取り組み】

【大迫地区】
- コミュニティ会議と中学生、高校生が共同した取り組み
- 子どもの見守り、声掛けのスクールガードの取組み
- ふれあいいきいきサロン、通いの場（軽体操）

【内川目地区】
- 住民同士による見守り活動
- 伝統芸能を通じた交流

【外川目地区】
- ご近所同士のたすけあい活動
- 世代間交流事業

【亀ケ森地区】
- ご近所同士のたすけあい活動
- ご近所サポーター事業の仕組み
- 世代間交流事業

福祉でまちづくりを進めるために聞いた住民の声や思い

【大迫地区】
- 祭りや地域の行事へのボランティアが少ない
- ふれあいの場がなく、日常のコミュニケ―ションが不足している
- 助け合いのできる若い世代がいない

【内川目地区】
- ご近所との関係が希薄になってきている
- 一人暮らし高齢者が増えてきたよね
- 通院や買い物時の交通手段がない

【外川目地区】
- 一人暮らし高齢者が増加している。
- 交通手段が曜日にが限定され、自由な移動ができない
- 困った時にどこに相談に行けばよいか分からない

【亀ケ森地区】
- 地域住民の孤立化、孤独化が進んでいる
- 交流する場がなくなった
- 集まりの場へ行く交通手段がない

５年後こんな大迫地域になっているといいな！！

【大迫地区】
- 子どもがのびのび育ち、若者が誇りに思える地域
- 地域住民が顔見知りで、互いに認め合える地域
- 住民同士で支えあいができる地域

【内川目地区】
- お互いに支えあえる地域
- 最後まで住み慣れた地域で暮らせる地域
- 行きたい所へ自由に出掛けられる地域
- 若い人の働く場がある地域

【外川目地区】
- 支えあい安心して暮らせる地域
- 生きがいの持てる地域
- 子どもたちの笑い声が聞こえる地域

【亀ヶ森地区】
- 安心、安全な地域
- みんなが集える地域
- いつまでも暮らせる地域

住民の声や思いをもとに考えた
地域の福祉を良くする３つの目標

【大迫地区】

１　伝統芸能と子どもを軸とした地域のつながりづくりをしよう！

〇既存の活動から広げていき、交流人口を増やそう（神楽・あんどん祭りなど）
〇参加したくなる、集まりたくなる声かけをしよう（声かけの上手な人をつくる、みつける）
〇スクールガードなどの活動を通じて顔見知りを増やそう 『顔の見える関係づくり』

２　住民同士で支え合い、安心できるまちづくりをしよう！

〇町内会であいさつ、声がけ（見守り）ができる活動をしよう（班回覧の活用）
〇生活支援の体制をつくろう（市総合事業について学ぶ、生活支援の協議体の立ち上げの検討）
〇若い世代も含めた懇親会（世代間交流）を開催し交流しよう

３　年齢や世代を問わずに互いに認め合えるまちづくりをしよう！

〇ニュースポーツなどをとおして、世代間の交流を図りつながろう
〇上記の交流などを学校と協力し、活動を広げよう（子ども会の参加など）
〇社会福祉施設との交流や活用を検討し、進めよう（地域で集まれる場づくり、相互理解）

【内川目地区】

1　互いに思いやり、支えあう内川目地区をつくろう！

〇ひとり一役を基本に、現役世代同士の横のつながりをつくり、顔の見える関係性をつくろう
〇付かず離れずの適度な距離感で、ちょっとしたお節介をしよう（高齢者のゴミ出し 等）
〇集落の祭りを復活させ、地域の一体感を作ろう（人口減少のため、集落の祭りが廃れている）
〇社会福祉協議会、地域包括支援センター、行政機関等と民生委員・地域住民との連携を緊密にすることで、誰ひとり孤立化しない地域をつくろう

2　子どもから高齢者までのすべての住民が、安心・安全に生活できる内川目地区をつくろう！

〇認知症サポーターの養成を地域全体で進め、認知症に対する正しい理解を広めていこう
〇子どもから大人までが集える居場所をつくろう
〇地域住民が集う機会を設けていこう

3　健康でいきいきと、長生きできる内川目地区をつくろう！

〇ふれあい・いきいきサロンの活動を通じ、お互いの見守りを高齢者同士でしていこう
〇安心して健康に暮らせる地域をつくろう
〇認知症について勉強会を開催し、理解を深めよう

【外川目地区】

1　隣り近所　仲良くつきあえる外川目地区にしよう！

〇孤立者・孤立世帯を作らないように、隣り近所に声を掛け合う関係性をつくろう
〇隣り近所で安否などの情報を共有しあい、困りごとやSOSの発見など、早めに専門機関（包括・市・社協）につなげよう
〇安心キットなど、良いもの（資源の活用）を広げ、たすけあいの意識を高めよう

2　魅力ある外川目地区にしよう！

〇魅力ある郷土芸能の継承を行い、交流人口を増やそう（世代間交流）
〇個々が、地域の魅力を理解し、つながりの輪を作り、広げよう
（つながりの輪から、人材や担い手の育成・発掘へ）
〇コミュニティだより等の広報（号外発行、行事や活動団体の紹介、活動の様子等を掲載）を活用して、地域の情報や活動の様子を発信しよう

3　住民同士の支え合いができる外川目地区にしよう！

〇各地域における「サロン活動」に区長や民生委員を誘い、積極的に活動をしよう
〇リスクのある人や世帯を早期に把握するために「地域ネットワーク会議」を小地域ごとに実施しよう
〇有償ボランティアを募集し、参加したくなるような企画を作ろう

【亀ケ森地区】

1　みんなで結び付きのある安心して暮らせる亀ヶ森地区にしよう！

〇介護施設による介護の説明会を行っていこう
〇介護が必要となる前の情報収集の場をつくろう
〇となり近所の声掛けや見守りを行っていこう

2　みんなが集え、いつまでも暮らせる亀ヶ森地区にしよう！

〇公民館活動の活性化を促そう
〇公民館で高齢者の集えるサロンを行おう
　※現況で行っている会場が振興センターであり、人によっては行くことが難しい
〇サロン活動について理解を深め、広げていこう（サロンの新規開拓）
〇「八亀体操」の再開、または、公民館・行政区単位で元気出まっせ体操などに取り組もう

3　地域のみんなが福祉に関する情報を共有しよう！

〇認知症や障がいのある方を理解しよう
〇介護保険制度や施設、デイサービスなどの情報収集、勉強ができる場を地域に設けよう
〇ご近所サポーター事業の周知や会員の募集をしよう
〇買い物代行支援や移動販売車を地域に呼ぼう

【大迫地域の年齢層別人口及び世帯等の状況について】

	人口	年少人口（0~14 歳）	生産人口（15~64 歳）	高齢人口（65 歳以上）	行政区数	世帯数	一人暮らし高齢者世帯数	高齢者のみ世帯数
大迫地域	4,375 人 男 2,146 人 女 2,229 人	234 人 5.3(%)	1,984 人 45.3(%)	2,157 人 49.3(%)	22 行政区	1,773 世帯	419 世帯	296 世帯
大迫地区	1,820 人 男 874 人 女 946 人	111 人 6.1(%)	807 人 44.3(%)	902 人 49.6(%)	8 行政区	815 世帯	241 世帯	135 世帯
内川目地区	1,046 人 男 525 人 女 521 人	48 人 4.6(%)	475 人 45.4(%)	523 人 50.0(%)	6 行政区	411 世帯	83 世帯	69 世帯
外川目地区	611 人 男 314 人 女 297 人	24 人 3.9(%)	284 人 46.5(%)	303 人 49.6(%)	4 行政区	223 世帯	43 世帯	33 世帯
亀ヶ森地区	898 人 男 433 人 女 465 人	51 人 5.7(%)	418 人 46.5(%)	429 人 47.8(%)	4 行政区	324 世帯	52 世帯	59 世帯

資料：花巻市　年齢別人口集計表（令和５年９月末）、花巻市　老人人口集計（令和５年９月末）

【大迫地域の社会資源等の状況について】

	コミュニティ会議数	民生委員児童委員協議会数	民生委員児童委員数	主任児童委員数	ふれあいサロン数	医療機関数	教育機関・学校数	社会福祉施設数
大迫地域	4	1	24	2	21	3	幼・保　2 小学校　1 学童ｸﾗﾌﾞ　1 中学校　1 高校　1	高齢　5 障がい　1
大迫地区	1	1	24	2	6			
内川目地区	1				3			
外川目地区	1				9			
亀ヶ森地区	1				3			

資料：東北厚生局　医療機関一覧表（令和５年 11 月１日）、花巻市　障がい福祉ガイドブック 2023

地域福祉活動計画

「地域福祉活動計画」は、花巻市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる「福祉のまちづくり」を進めるための計画です。

「住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の３つの計画で構成しています。

住民福祉活動計画	住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。市内１０地区でそれぞれに福祉活動やまちづくりに携わる住民の皆さんと策定し、住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」を形にしたもの。
地域福祉推進計画	花巻市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。
基盤強化計画	地域福祉を推進するために必要な、花巻市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化を進めるための計画。

花巻市社会福祉協議会大迫支部

花巻市社会福祉協議会では地域福祉の推進単位として花巻市を１０の地区に分け、その各地区に社協支部を設置しています。

【大迫支部運営委員の選出団体】

大迫地域区長会、大迫地区民生委員児童委員協議会、大迫地区更生保護女性の会、
花巻市食生活改善推進員協議会大迫地区会、学識経験者

【大迫支部の主な活動状況】

- 高齢者福祉活動（ふれあい交流会、ほのぼの会等）
- 地域福祉活動（ふれあいいきいきサロン助成、地域福祉懇談会、赤い羽根共同募金運動等）
- 児童福祉活動（児童支援事業）
- 障がい者福祉活動（キャップハンディ体験事業等）　　等々

地域ふれあいホーム

ふれあい昼食会

キャップハンディ体験